

2019年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号		授業科目名	経営史演習Ⅰ・Ⅱ		担当教員	谷崎 敏昭				
		英語授業科目名	Seminar on Business HistoryⅠ・Ⅱ		単 位	各 4	学 期	通 年		
対象年次	1・2年次		クラス指定		他との関連					
履修条件	特になし									
テーマ・副題	経営史の現代的意義									
授業の教育目的・目標	現代企業経営における諸問題について考察する。									
授業の理解度の到達目標	現在社会で問題となっている企業経営上の諸問題について、歴史を踏まえた理解が出来るようになる。									
授業キーワード	景気循環 リーマンショック 情報化 グローバル化									
授業の内容	企業経営に関する決められたテーマに従って歴史的分析を行う。									
授業の方法	討論方式。院生の積極的な発言を期待している。									
授業展開	<table><tr><td>前期 (2年生)は修士論文のテーマ決定と骨子作成 (1年生) 1 大学院における学習方法 2 経営史とは何か 3 日本の商業経営 4 幕末の企業経営 5 日本の産業革命 6 財閥の成立 7 戦争と企業経営 8 渋沢栄一論 15 P.F ドラッカーと日本 プレゼンテーション(日本的経営1) 6 プレゼンテーション(日本的経営2) 7 プレゼンテーション(グローバル化1) 8 プレゼンテーション(グローバル化2) 9 プレゼンテーション(AI社会について1) 10 プレゼンテーション(AI社会について2)</td><td>後期 (2年生)は修士論文の指導 (1年生) 16 修士論文のテーマについて 17 高度経済成長と日本の経営 18 情報化と産業 19 企業の情報化 20 日本の産業と構造転換 21 自動車産業の動向 22 工作機械産業の展望 23 NPO組織の可能性 24 知識社会と企業経営 25 プレゼンテーション(ポスト資本主義1) 26 プレゼンテーション(ポスト資本主義2) 27 プレゼンテーション(金融革命1) 28 プレゼンテーション(金融革命2) 29 プレゼンテーション(経営学の諸問題1) 30 プレゼンテーション(経営学の諸問題2)</td></tr></table>								前期 (2年生)は修士論文のテーマ決定と骨子作成 (1年生) 1 大学院における学習方法 2 経営史とは何か 3 日本の商業経営 4 幕末の企業経営 5 日本の産業革命 6 財閥の成立 7 戦争と企業経営 8 渋沢栄一論 15 P.F ドラッカーと日本 プレゼンテーション(日本的経営1) 6 プレゼンテーション(日本的経営2) 7 プレゼンテーション(グローバル化1) 8 プレゼンテーション(グローバル化2) 9 プレゼンテーション(AI社会について1) 10 プレゼンテーション(AI社会について2)	後期 (2年生)は修士論文の指導 (1年生) 16 修士論文のテーマについて 17 高度経済成長と日本の経営 18 情報化と産業 19 企業の情報化 20 日本の産業と構造転換 21 自動車産業の動向 22 工作機械産業の展望 23 NPO組織の可能性 24 知識社会と企業経営 25 プレゼンテーション(ポスト資本主義1) 26 プレゼンテーション(ポスト資本主義2) 27 プレゼンテーション(金融革命1) 28 プレゼンテーション(金融革命2) 29 プレゼンテーション(経営学の諸問題1) 30 プレゼンテーション(経営学の諸問題2)
前期 (2年生)は修士論文のテーマ決定と骨子作成 (1年生) 1 大学院における学習方法 2 経営史とは何か 3 日本の商業経営 4 幕末の企業経営 5 日本の産業革命 6 財閥の成立 7 戦争と企業経営 8 渋沢栄一論 15 P.F ドラッカーと日本 プレゼンテーション(日本的経営1) 6 プレゼンテーション(日本的経営2) 7 プレゼンテーション(グローバル化1) 8 プレゼンテーション(グローバル化2) 9 プレゼンテーション(AI社会について1) 10 プレゼンテーション(AI社会について2)	後期 (2年生)は修士論文の指導 (1年生) 16 修士論文のテーマについて 17 高度経済成長と日本の経営 18 情報化と産業 19 企業の情報化 20 日本の産業と構造転換 21 自動車産業の動向 22 工作機械産業の展望 23 NPO組織の可能性 24 知識社会と企業経営 25 プレゼンテーション(ポスト資本主義1) 26 プレゼンテーション(ポスト資本主義2) 27 プレゼンテーション(金融革命1) 28 プレゼンテーション(金融革命2) 29 プレゼンテーション(経営学の諸問題1) 30 プレゼンテーション(経営学の諸問題2)									
成績評価方法	レポート(70%)と授業貢献度(30%)で評価する。									
成績評価基準	A(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。									
テキスト	授業中に指示する。									
参考図書	授業中に指示する。									
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	毎回2時間程度。参考文献を読んでもらうこと。									
学生へのメッセージ	参照 http://tyit.blogspot.com/ プレゼンテーション能力を培うことは重要なことである。									
オフィスアワー	木曜日 12時50分~14時20分									
連絡先	電話番号	0274-42-2828(内線5403)		メールアドレス	tanizaki@jobu.ac.jp					
人数制限	制限しない。									